



シルバー便り 第32号

とよむ

発行

豊見城市シルバー人材センター

沖縄県豊見城市字平良536番地

電話：098-850-7716

FAX：098-850-7719



市立中央公民館前通路の黒木の散髪(剪定)に余念のない会員たち

シルバーの目をボランティア活動に

毎年十月は全国一斉に「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に設定されています。

特に月間の第三土曜日は「シルバーの日」となっており、当センターではこの日を、年間ではもっとも大がかりなボランティアをすることに当てて実行しています。

ところが昨年のこの日(十月二十一日)は台風二十一号が最接近したため延期となり、結局十一月十日に従来と変わらない大清掃を実施致しました。

(四ページ参照)

新年度は生甲斐の充実も

理事長 比嘉 健夫

会員はじめ関係各位の皆様には、平素から当シルバー人材センターの事

業運営に対し、格別なご理解とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

平成三十年度も、生きがいの充実及び就業機会の確保・提供並びに会員

等に取り組んだ結果、契約金額の増額等一定の成果を上げることが出来ました。

また、発注者の信頼・信用に応えるべく安全の確保及び、適正就業の徹底を図る一方、ボラン

ティア活動等社会貢献にも引き続き取り組んでまいります。会員の皆様には今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

就業機会の確保と提供に力

さて、平成二十九年年度の拡大を目指してまいります。

結びに、会員の皆様

ます最初は、比嘉理事長、照屋教育長(市長代理)それに大城市議会議長さんらの「みんなの健康と今年のシルバー事業の発展を」願って、意気の合った「ヨイショ!ヨイショ!」に始まり、園児たちも含めて会員らは、

そのような雰囲気の中で役員や多くの会員から提供された景品でお楽しみ抽選会も行われ、当りくじが発表される度に歓声上がり、ステージの盛り上がりと両面あいまって楽しい年始会となりました。



また、発注者の信頼・信用に

結ぶに、会員の皆様

ます最初は、比嘉理事長、照屋教育長(市長代理)それに大城市議会議長さんらの「みんなの健康と今年のシルバー事業の発展を」願って、意気の合った「ヨイショ!ヨイショ!」に始まり、園児たちも含めて会員らは、

そのような雰囲気の中で役員や多くの会員から提供された景品でお楽しみ抽選会も行われ、当りくじが発表される度に歓声上がり、ステージの盛り上がりと両面あいまって楽しい年始会となりました。

そのような雰囲気の中で役員や多くの会員から提供された景品でお楽しみ抽選会も行われ、当りくじが発表される度に歓声上がり、ステージの盛り上がりと両面あいまって楽しい年始会となりました。

会員の健康とセンターの発展を願って

新春はもちつき大会から



新春らしい気合の乗ったもちつきは会場に元気をふりまいた



チビッコたちも大人に負けじとヨイショッ

平成三十年の新春地域交流もちつき大会及び年始会は一月十一日(木)、もちつきが午前に公民館の多目的広場で、年始会は午後一時から二階中ホールで賑やかに開催されました。

もちつき大会は、招か

また、午後の年始会では、新年の慶びやそれぞれの健康、地域の話題で

年始会

もちつきを楽しみ、会場全体に「ヨイショ」のかけ声が広がり盛会なもちつき大会でした。

交通安全運動で県警本部長から感謝状

豊見城市シルバー人材センター(比嘉健夫理事長)は、新年早々の去る一月二十三日、沖縄県警本部長(梶原芳也警視正)

から「貴センターは県下の交通情勢を深く認識され、県民の交通安全意識の高揚に努め交通事故防止に大きく貢献された」

として感謝状を授与されました。私たちシルバー会員は今後とも交通安全には更に気配りし、積極的にかかわっていきましよう。



ベテランシルバー女子会員らによる幕明け

他市のシルバー会員らも見学

実り多かつた啓発パネル展

シルバー人材センター事業の普及啓発を図るためのパネル展は、平成二十九年十月十日から十三日までの四日間、豊見城市役所一階ロビーで開催されました。

展示会場にはシルバー事業の経過や実績・統計資料、育児支援、草刈り、剪定、更に多くの就業、年間行事の写真などのほかサークル活動による小物・手工芸品、書道、絵手紙の作品などが所狭しと展示されていました。

今回のパネル展には、四日間で二百七十人の市民が足を運んでくださり、民が足を運んでくださり、たばかりでなく、他市シルバーの方も訪れて交流もあり、參觀者の反応も良く、シルバーに入会したいとか、事業内容をた



作品の批評をしながら熱心に見入る観客



「この作品はどうか」とお客さんに注目をうながす平田さん

学習の要素も多かつた 会員等交流ピクニック

当シルバー人材センターの社会研修を兼ねた「会員等交流ピクニック」は、昨年の十一月二十五日に実施されました。

参加した八十人余の会員らは二台のバスに分乗、八時三十分にはセンターを出発しました。



座喜味城跡の松並木を歩く会員たち



楽しかったピクニックの一コマ

ずねたりと、シルバー事業への関心を示された方が十数件もあり、実りあ

るパネル展を実感しました。

コースは、中・北部の周遊で、最初は「道の駅かでな」で英気を整え、護佐丸が築城したと言われる座喜味城跡では古を偲び、近くのむらさきむらでバイキングの昼食を楽しむ。

北部では、オリオンビールの仕込みからビールになるまでを学習し、試飲

のおまけまでついて気よくしました。

道道はガイドさんから地域や名所などの解説も耳学問になった。

更に足を延ばして施設訪問の最後は、羽地ダムの景観と資料館を見学、改めてダムの有り難さを感じつつ帰路につきました。

途中、全国でも上位にランクされると言う「道の駅許田」に立ち寄り、ピクニックからのおみやげを買い求めて、午後五時半にはとどこおりなく帰着しました。

黄金くどうば

郷土の先達から
子や孫へ送る
人生の
メッセージ

世や捨てていん、
身や捨ていんな

世は捨てても、身は捨てるな。

どんな世の中にあっても、身を見失ってはならないという意。世の中は衰退と繁栄の繰り返しである。イクサユ一(戦い世)や大飢饉の世があるかと思えば、豊かで平穏な世が訪れる事もある。今は辛い時期にあっても、じっと耐えていれば、いつかは笑顔に満たされる時がやってくる。だから苦しいからといってやけを起こして自分を粗末にしてはならない。どんな世の中にあっても、自分を大切にし、目標を持って生きようという教え。前向きに生きる事の大切さを説く場合に用いられる。



元理事 久手堅 憲珍



照屋忠勝さん

照屋会員が 献血二百回奉仕



ゴミ拾いは各通りをジュータン作戦で取り組んだ



市民がふだんお世話になっている社協ホールをきれいに

豊見城市シルバー人材センター会員の照屋忠勝さんが献血二百回を達成。照屋さんは「多年にわたり献血を通して多くの患者さんに多大な貢献をされた」として、那覇市久茂地の献血ルームにおいて日本赤十字社からの感謝状をいただきました。

照屋さんが献血奉仕に目覚めたのは三十歳の頃。職場の奉仕活動がきっかけだったと言う。以来、毎月一回または二回のペースで計画的に献血し、去る十一月四日の誕生日に二百回を達成しました。

それにとつなべの前はアツアツのゆしドーフを求めて長蛇の列ができ、シンナービ十杯分が消費されました。

市内広範囲の清掃作業

シルバーの日のボランティア

台風二十一号の接近で延期になっていた当シルバーのボランティア活動は、十一月十日の好天に恵まれ、会員・役職員ら百人余が参集し、グループ毎に割り振りされた広

範囲の清掃作業となりました。現場は主要幹線道路の市道及び一部県道、豊見城団地内道路周辺のゴミ拾いや草取りなどのほか、市立中央公民館周辺道路

第二十二回豊見城市生涯学習フェスティバルは、去る二月十七・十八日の二日間、晴天に恵まれて開催されました。

の黒木剪定、今回から社
会福祉センター二階ホー

ルの拭き掃除なども手が
けました。

石臼での豆ひきに興味

トーフづくり体験にぎわう

この催しでは多くの生涯学習コーナーが設けられ、今までにない大変な

にぎわいでした。これらのコーナーの中には、定番のトーフづくり体験コーナーがあり、シルバーセンターはボランティアで手伝いま



トーフづくりに取り組む、早くも将来の主婦修行かな？

三人は四年生の三つのクラスを受け持ち、真剣に取り組む子どもたちに目配りしながら、運筆など全般の指導に当たっていました。

会員が書初め指導

豊見城小学校の今年

の「校内書初め大会」は、去る一月十日午前九時半から約二時間の日程で行われました。

この大会の実技指導には、豊見城市内書道塾の先生方、他、当シルバーセンター書道サークル会員の宇根丈雄、国場澄子、安谷屋富士子さんもボランティアで手伝いました。



ことしの書き初めに真剣に取り組む豊見小の4年生たち

編集後記

今、社会は人手不足の真つただ中にある。平たく言えば「売り手市場」だ。新聞等に入ってくる採用のチラシや各戸の郵便受けに投入されるそれ、寄り合いの場での話など話題は尽きない。まるで「働き手やーい」の時代だ。▼その波は、シルバー人材事業にもひたひたと寄せてきつつある。シルバー会員がもと勤めていた会社と呼び戻されたり、勤め先が決まったから…と名簿から抜かれたり、会員減の一因にもなっている。▼また、会社の定年延長の影響は、以前からあることだ。センターはこれらの機会をチャンスに捉え、独自性就業の創出や会員就業機会の掘り起し、楽しい生き甲斐づくりのPRなど、更に魅力ある人材バンクに仕上げて行きたいものだ。

(垣)